

意スルト共ニ右委員会ニハ欧州外諸国代表ヲ参加セシムルコトヲ決議シタルニ付議長「モッタ」ハ右委員会ハ独白、西班牙、「エストニア」、芬蘭、仏、英、希、伊、「ラトヴィア」、波蘭、羅、瑞典、瑞西、「チエツコ」、土、露ノ欧州諸国及日本、印度、支那、豪、智利、「ウルガイ」、加奈陀諸国ノ委員ヲ以テ組織スルコトヲ提議シ右ノ通可決ス

尚本委員会ハ特別ノ事情生セサル限り来ル十一月二日ヨリ開催ノコトニ決定ス

(二)希臘提案ノ穀物以外ノ農産物ニ関スル特惠関税設立問題ノ研究ノ為ノ特別委員会(九月十九日付普通通連本公第七一七号拙信参照)ニ付テハ議長ノ提案ノ如ク独、奥、白、「ブルガリア」、丁抹、西班牙、仏、英、希、愛蘭、伊、

蘭、波蘭、「チエツコ」及土諸国ノ委員ヲ以テ之ヲ組織スルコトニ決定ス且本委員会ハ十月三十日ヨリ開催ノコトトセリ

尚本委員会ニ於テハ最初乾葡萄及煙草ニ関スル特惠関税問題ニ付研究スル予定ナルモ他ノ品目ニ付テモ研究ヲ希望スル国アラハ其ノ理由ヲ付シ可成早日ニ申出アリタキ旨議長ヨリ披露アリタリ

(三)欧州連合研究委員会議長「ブリアン」任期満了セル処仮議長「モッタ」ノ発議ニテ「ブリアン」更ニ一年間議長ニ選任セラル

尚事務上ノ関係ヨリ二名ノ副議長ヲ置クコトトシ瑞西代表「モッタ」及希国代表「ポリチス」選任セラレタリ

本信写送付先 在欧米各大使、在欧各公使

事項
番号
文書
番号

電信
書信
番号

発・受 信 者

件

名

……頁

昭和期Ⅰ（昭和二十六年）第二部第二卷 日付索引

昭和二年

二	132	昭和2年1月3日	連本公一	在パリ杉村（陽太郎）連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	ジュネーヴにおける経済会議議題第一部に対する我が方覚書提出方連盟事務総長より要請について	……139
一	1	昭和2年1月24日	一八	在パリ佐藤（尚武）連盟事務局長より 幣原（喜重郎）外務大臣宛（電報）	軍縮準備委員会第三回会議の開催日通知について	……1
一	2	昭和2年3月13日	一九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛（電報）	第三回軍縮準備委員会の会議当初における声明の必要性につき請訓	……1
一	3	昭和2年3月17日	二六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛（電報）	軍縮準備委員会の基礎案として英仏双方から条約案が提出された旨の軍縮部主任の内話について	……2
一	4	昭和2年3月17日	一三五	在ソ連邦田中（都吉）大使より 幣原外務大臣宛（電報）	ソ連の軍縮準備委員会参加問題に関するイズヴェスチア紙の論評について	……3

一	5	昭和2年3月18日	二七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会に対する米国側態度について……………	4
一	6	昭和2年3月19日	一五	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	軍縮準備委員会の事業が日英米三国会議に障 害を及ぼさないようにとの訓令……………	4
一	7	昭和2年3月20日	二八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	英国側より提案予定の条約案について……………	5
一	8	昭和2年3月21日	三〇	別 電 昭和二年三月二〇日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣 宛第二九号 右条約案要領	……………	5
一	9	昭和2年3月23日	三二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	第三回会議の開会と英国側条約案の提出につ いて……………	8
一	10	昭和2年3月24日	三三	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国側の条約案要領について……………	8
二	11	昭和2年3月25日	通一普通 五二	別 電 昭和二年三月二四日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣 宛第三四号 軍縮準備委員会における英仏両提案に対する我が方代表部の意見 経済会議議題第一部に対する我が方覚書提出 について……………	……………	11
一	12	昭和2年3月26日	三六	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 幣原外務大臣宛(電報)	英仏両案を一案に統合して討議を行なうとの 委員会決定につき請訓……………	12

一	12	昭和2年3月26日	三七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国案中の陸海空三軍人員制限に関する討議 状況について……………	13
一	13	昭和2年3月30日	一九	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	我が方代表部意見に対する回訓……………	13
一	14	昭和2年4月1日	四五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国案における本国軍と海外領土軍との区分 制限方式に関する討議について……………	15
一	15	昭和2年4月2日	四六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	第一読会を終了した陸軍軍縮条約案について……………	16
一	16	昭和2年4月5日	二五	別 電 昭和二年四月二日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣宛 第四七号 右陸軍軍縮条約案 付 記 右別電仮訳	……………	16
二	17	昭和2年4月6日	二六	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	我が方代表部意見における空軍制限方式に関 し回訓……………	18
一	134	昭和2年4月5日	二六	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	我が方委員などの任命について……………	145
一	16	昭和2年4月5日	二五	付 記 昭和二年二月二五日付高裁案 我が方委員の資格について……………	……………	146
一	17	昭和2年4月6日	五一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍人員制限案に対する我が方意向につきセ シル英国代表よりの打診について……………	20

一	18	昭和2年4月6日	五二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会における海軍人員制限に関する討議について	21
一	19	昭和2年4月7日	五三	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍艦制限方式の審議状況について	22
一	20	昭和2年4月7日	五四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍問題に関するセシル英国代表との会談について	24
一	21	昭和2年4月7日	五六	別電 昭和二年四月七日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣宛 第五五号 軍艦制限方式に関する仏国妥協案について	予算制限に関する討議とドイツ側提案について	25
二	135	昭和2年4月8日	条三機密 二八	幣原外務大臣より 志立(鉄次郎)国際経済委員他宛	経済会議に関する我が方準備書記局の意見	146
一	22	昭和2年4月8日	六〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	空軍問題第一読会における決定事項について	26
一	23	昭和2年4月9日	二八	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	海軍人員の制限には不同意の旨回訓	26
一	24	昭和2年4月9日	六四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍人員制限問題に関する意見具申	27
一	25	昭和2年4月9日	六五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍艦制限に関する仏国新提案の内容について	27

一	26	昭和2年4月10日	六六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国新提案に関する日本代表部の見解について	28
一	27	昭和2年4月11日	六七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	英国側の譲歩事項について	29
一	28	昭和2年4月11日	六八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	空軍問題に関する討議事項の追加について	29
一	29	昭和2年4月12日	六九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍問題に関する仏国新提案の討議について	30
一	30	昭和2年4月12日	七〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国新提案の討議および佐藤代表の調停的声明について	32
一	31	昭和2年4月12日	七一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	人員制限、空軍制限および兵役の年限制限に関する報告	32
一	32	昭和2年4月12日	七三	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍人員および軍艦制限問題に関する討議報告	33
一	33	昭和2年4月13日	七五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	空軍問題のうち可決された事項について	34
一	34	昭和2年4月16日	七四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍事監督状況の審議報告	35
一	35	昭和2年4月19日	三四	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	海軍人員制限に関する回訓	36

一	36	昭和2年4月20日	三六	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	空軍制限方式に関する回訓	……	36
一	37	昭和2年4月20日	八一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中(義一)外務大臣宛(電報)	海軍人員制限問題に関する声明案につき異議 の有無回電方要請	……	37
一	38	昭和2年4月21日	三七	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	陸軍制限案に関する回訓	……	37
一	39	昭和2年4月21日	三八	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	人員制限等に関する回訓	……	38
一	40	昭和2年4月22日	三九	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	海軍人員制限問題に関する声明に対し同意に ついて	……	38
一	41	昭和2年4月25日	八六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	条約実施に関する条項の審議について	……	38
一	42	昭和2年4月25日	八七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	我が方留保撤回の声明について	……	40
一	43	昭和2年4月26日	八九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	委員会閉会と議長よりの第二読会開催希望表 明について	……	41
二	136	昭和2年5月6日	公二二七	在英国松井大使より 田中外務大臣宛	経済会議に関するソルター連盟事務局経済財 政部長の英紙への寄稿記事要旨	……	153
二	137	昭和2年5月7日	九七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	会議における我が方委員の演説要旨報告	……	154

二	138	昭和2年5月8日	一〇〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	中国委員の経済自主権の確立を訴える演説要 旨報告	……	155
二	139	昭和2年5月13日	公二二九	在英国松井大使より 田中外務大臣宛	ソ連委員の演説に関する英国各紙社説につい て	……	156
二	140	昭和2年5月13日	公二二〇	在ウラジオストック渡辺(理恵)総領 事より 田中外務大臣宛	経済会議に関するタス通信の論調報告	……	157
二	141	昭和2年5月21日	一一四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	商工農各委員会決議案について	……	160
二	142	昭和2年5月21日	一一六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	各委員会における我が方委員の意見について	……	161
二	143	昭和2年5月23日	一一七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	経済体制を異にするソ連への決議事項適用に 関する決議採択について	……	161
				別電 昭和二年五月二三日付在ジュ 宛第一一八号 右決議	ネーヴ佐藤連盟事務局長より田中外務大臣	……	162
二	144	昭和2年5月23日	一一九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	本会議における諸決議の採択について	……	162
二	145	昭和2年5月23日	一二〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	会議閉会にあたり我が方委員の演説要旨報告	……	162
二	146	昭和2年5月23日	一二一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	決議事項実行機関に関する決議の採択につい て	……	163

別電 昭和二年五月二三日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より田中外務大臣

宛第一二二二号
右決議

二 昭和2年5月26日 公三六七 在仏国石井(菊次郎)大使より 経済会議の成果に関する仏国各紙の論調報告……………164

二 昭和2年6月6日 公三七〇 在米國松平大使より 経済会議の成果に関する米國各紙の論調報告……………166

二 昭和2年6月10日 商公 在ソ連邦田中大使より 経済会議より帰国後のソ連委員記者会見につ……………167

二 昭和2年7月16日 普通連本 田中外務大臣宛 輸出禁止制限撤廃會議への招請について……………174

付記一 昭和二年一月外務省条約局第三課作成
「輸出入ノ禁止及制限撤廃問題ニ関スル調書」(抜粋)

二 連盟經濟委員會作成の輸出入禁止制限撤廃協定案……………176

三 大正一五年二月一三日付幣原外務大臣より在パリ杉村連盟事務局次長……………186

宛電報第二二二二号
協定案に対する我が方見解

二 昭和2年9月3日 九七 田中外務大臣より 第八回連盟總會における經濟會議に関する我が方声明について……………172

二 昭和2年9月16日 一〇一 田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 我が方代表の任命について……………187

六 昭和2年9月27日 二三 在ジュネーヴ連盟三全權より 國際法典編纂會議の開催に関する連盟總會決議について……………583

六 昭和2年9月29日 一八二 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 國際法典編纂會議準備委員會に邦人推薦について……………584

二 昭和2年9月30日 一八四 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 我が方の輸出入禁止および制限事例につき請訓……………187

二 昭和2年10月8日 九一 田中外務大臣より 非常時禁止制限条項の適用条件につき照会……………188

二 昭和2年10月11日 一二一 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報) 非常時禁止条項適用条件につき回答……………188

二 昭和2年10月15日 一二二 田中外務大臣より 輸出入禁止および制限により我が方が不利益を蒙る事例につき回答……………189

二 昭和2年10月15日 一一三 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 協定案に対する我が方方針訓令……………190

一 昭和2年10月18日 一三〇 在パリ佐藤連盟事務局長より 第四回軍縮準備委員會において我が方の採るべき方針につき請訓……………42

二 昭和2年10月19日 一九四 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 本協定と既存通商条約との効力関係などに関する討議状況について……………191

二 昭和2年10月19日 一九五 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 協定が適用される貿易の範圍に関する我が方方針につき請訓……………192

一	45	昭和2年10月20日	四九三	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍縮準備委員会参加に関するイズヴェ スチア紙の論評について	……	42
二	160	昭和2年10月21日	一一四	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	本協定と既存通商条約との関係および協定が 適用される貿易の範囲などに関し大勢順応の 旨訓令	……	192
二	161	昭和2年10月21日	一九六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	非常時禁止制限条項に関する拡張修正案提起 見合わせ方請訓	……	193
二	162	昭和2年10月24日	一九七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	米の除外問題に関する我が方方針につき請訓	……	194
二	163	昭和2年10月25日	一一六	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	染料および米の除外につき我が方方針回訓	……	194
二	164	昭和2年10月25日	一九八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	我が方の国防関係除外品目につき照会	……	195
二	165	昭和2年10月26日	一九九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	除外品目に関する討議状況について	……	196
二	166	昭和2年10月27日	一二〇	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	除外品目に窒素製品を含めるための条文措置 につき訓令	……	197
二	167	昭和2年10月28日	二〇〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	禁止制限に関する各国の留保状況について	……	197
一	46	昭和2年10月29日	一四二	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会第四回会議の開催期日および 仮議題について	……	43

二	168	昭和2年11月3日	二〇一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	米および染料の除外を期限付きとせざるを得 ない会議の趨勢について	……	198
二	169	昭和2年11月4日	一二八	別 電 昭和二年十一月四日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より田中外務大臣 宛第二〇二号 これまで討議を了した協定案の概要	……	……	200
二	170	昭和2年11月5日	二〇三	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	協定案への調印差控え方訓令	……	202
二	171	昭和2年11月5日	一二九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	調印差控えは不得策との意見具申	……	202
二	172	昭和2年11月8日	一三一	別 電 昭和二年十一月五日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長 宛第一三〇号 仲裁規定に関する留保宣言	……	……	204
一	47	昭和2年11月8日	一四七	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	協定案に対する我が方留保について	……	204
				在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	米および染料に関する留保を付し調印方訓令 ……	……	205
				米国代表の動向およびソ連参加につき心得 べき点について	……	……	43

二	昭和2年11月8日	二〇七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	輸出入禁止制限撤廃協定に共同調印について……………	205
一	昭和2年11月12日	一一三	田中外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	第四回会議における一般的条約案審議に際しての我が方方針訓令……………	44
一	昭和2年11月19日	一五四	別電 昭和二年十一月一二日付田中外務大臣より在パリ佐藤連盟事務局長宛第 一一四号 右訓令	……………	45
一	昭和2年11月19日	一五五	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会へのリトヴィノフ派遣について……………	46
一	昭和2年11月20日	五三五	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	第四回会議に関する仏国連盟事務局長および 杉村公使からの内話について……………	46
一	昭和2年11月22日	公三三三	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛	ソ連代表団の顔触れについて……………	47
一	昭和2年11月24日	三一八	在英国松井(慶四郎)大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮会議参加に関するリトヴィノフの新聞記 者会見談について……………	48
一	昭和2年11月30日	二二〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍縮準備委員会参加に対する英国外相 の観測等について……………	50
一	昭和2年12月1日	二二一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	会議開催冒頭におけるソ連の軍備全廃提案に ついて……………	50
				ソ連の軍備全廃案審議の次回会議までの延期 と安全保障委員会の構成等に関する討議につ いて……………	51

一	昭和2年12月15日	機密連本 公六三一	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	第四回軍縮準備委員会および第一回安全保障 委員会の所感報告……………	52
六	昭和2年12月28日	普通連本 公六七四	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	連盟理事会による国際法典編纂会議準備委員 会委員の任命について……………	584

昭和三年

57	昭和3年2月18日	二七	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍備全廃案に対する我が方態度につき 請訓	60
58	昭和3年2月21日	四八	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍備全廃条約案および同説明書につい て	60
59	昭和3年2月23日	一	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	ソ連の軍備全廃案に対する我が方態度につき 回訓	61
60	昭和3年2月27日	三	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	艦艇制限様式に関する我が方方針につき回訓	61
			付記一 昭和三年二月四日付在パリ加藤(隆義)海軍代表より海軍次官、軍令部 次長宛機密一番電		62
			次回軍縮準備委員会における艦艇制限様式に関する請訓		
			二 昭和三年二月二四日付大角(岑生)海軍次官より出淵(勝次)外務次官宛 官房機密第二二七号ノ二		63
			艦艇制限様式に関する海軍側の意見		

六	443	昭和3年3月2日	普通連本 公一五二	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	国際法典編纂会議準備委員会作成の質問集について	585
一	61	昭和3年3月3日	五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	海軍問題に関するカッセンタン英国代表の内話について	64
一	62	昭和3年3月21日	一九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍備全廃案に関して我が方の行なった声明について	65
一	63	昭和3年3月21日	二〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍備全廃案に関するリトヴィノフの挑戦的質問について	66
一	64	昭和3年3月25日	二二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連の軍備全廃案の否決と同国よりの軍備一部撤廃案提出について	66
一	65	昭和3年3月26日	三九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	未決問題は関係国間の協議により解決すべしとの仏国代表の演説に基づく第二読会の延期について	67
一	66	昭和3年3月26日	三八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会における英国代表の主力艦噸数引下げおよび艦齡延長に関する提案について	68

付記一	昭和三年三月二七日付在バリ加藤海軍代表より海軍次官、軍令部次長宛機密二番電	69
二	昭和三年三月二九日付大角海軍次官より在バリ加藤海軍代表宛官房機密第二七番電報	70
	主力艦問題に関する我が方海軍の意見	

二	174	昭和3年4月4日	機密連本 公二二四	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	輸出入禁止制限撤廃協定実施に関する第二回会議開催につき我が方方針請訓	206
一	67	昭和3年4月25日	機密公 一三一	在ソ連邦田中大使より 田中外務大臣宛	軍縮準備委員会に関するリトヴィノフの帰国演説について	70
一	68	昭和3年5月3日	機密連本 公二八〇	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	軍縮準備委員会第五回会議に関する所感報告	72
六	485	昭和3年5月25日	普通公 二八〇	在米國松平大使より 田中外務大臣宛	米國の常設国際司法裁判所加入問題に関する決議案上院外交委員会へ提出について	681
			付記	昭和一〇年一月条約局稿 「アメリカ合衆國ノ常設國際司法裁判所加入問題ニ關スル研究」(抜粋)		682

一	69	昭和3年6月18日	八六	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会事業に關し遠からず英仏間に妥協成立するとの連盟関係者の内報について	78
二	175	昭和3年6月21日	七七	田中外務大臣より 在バリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	第二回會議に対する我が方方針回訓	207
一	70	昭和3年6月28日	三四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	海軍問題に關する英仏妥協につき加藤海軍代表とケリー英國海軍代表との會談について	78
一	71	昭和3年7月3日	三六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	英國妥協案への我が方対応につき請訓	79
二	176	昭和3年7月6日	四〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	第二回會議における討議および我が方主張について	208
二	177	昭和3年7月10日	四二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	第二回會議において決定予定の補足協定および付屬議定書について	208

四	269	昭和3年9月12日	一九	在ジュネーヴ連盟三全権より 田中外務大臣宛(電報)	ライン撤兵問題と賠償問題に関する関係国代表者会議について	327
三	207	昭和3年9月13日	二〇	在ジュネーヴ連盟三全権より 田中外務大臣宛(電報)	中国の連盟理事問題などに関する安達大使と王中国連盟代表との会談について	241
四	270	昭和3年9月13日	二三	在ジュネーヴ連盟事三全権より 田中外務大臣宛(電報)	仏国よりの賠償問題最終的解決のための専門家会議開催提議について	328
四	271	昭和3年9月15日	七	田中外務大臣より 在ジュネーヴ連盟三全権宛(電報)	賠償問題最終的解決のための専門家会議に我が方専門家も参加させた旨訓令	329
四	272	昭和3年9月16日	二九	在ジュネーヴ連盟三全権より 田中外務大臣宛(電報)	賠償問題最終的解決のための財政専門家委員会設置について	329
三	208	昭和3年9月25日	四二	在ジュネーヴ連盟三全権より 田中外務大臣宛(電報)	賠償問題最終的解決のための財政専門家委員会設置に関する関係六ヶ国 付記 賠償問題最終的解決のための財政専門家委員会設置に関する関係六ヶ国 コミュニケ	331
三	209	昭和3年9月27日	四八	在ジュネーヴ連盟三全権より 田中外務大臣宛(電報)	王中国連盟代表とドラモンド連盟事務総長との会談の際中国援助問題に言及について	241
三	210	昭和3年10月3日	一四三	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	連盟事務局要人の訪中などに関する王中国連盟代表の杉村次長に対する内話について	243
三	211	昭和3年10月8日	一五一	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノル連盟事務次長の中国派遣に関しドラモンド連盟事務総長より杉村次長に内話について	244
三	212	昭和3年10月13日	一六〇	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノルの中国派遣を中国側受諾との新聞報道について	245
					アヴノル訪中の際の本邦立寄りにつき意見具申	245

三	213	昭和3年10月14日	無号	在英国佐分利(貞男)臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノル中国派遣の意図に関する報道について	246
三	214	昭和3年10月23日	一七四	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノル中国派遣の経緯に関する安達大使とドラモンド事務総長との会談について	246
三	215	昭和3年10月26日	一五一	田中外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	アヴノルの本邦立寄りを連盟事務総長に要請方訓令	247
三	216	昭和3年10月27日	一四八九	在中国堀(義貴)臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノル中国派遣に関する英国側態度につき英国公使の談話について	248
三	217	昭和3年11月1日	一八四	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノル訪中の日程および経路などに関する事務総長と王代表との会談について	248
四	273	昭和3年11月1日	三八一	在仏国安達(肇一郎)大使より 田中外務大臣宛(電報)	財政専門家委員会に対する仏国態度について	331
四	274	昭和3年11月1日	一〇五	在独国重光臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	財務専門家委員会に関する独国意見書について	332
一	77	昭和3年11月1日	一八六	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	別電 昭和三年十一月一日着在独国長岡(春二)大使より田中外務大臣宛第一〇六号 財政専門家委員会に関する独国意見書	336
六	444	昭和3年11月6日	条二機密 三四八	田中外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛	軍縮準備委員会の将来に関するドラモンド連盟事務総長の杉村公使への談話について 国際法典編纂会議準備委員会作成の質問集に対する我が方回答連盟事務総長へ提出方訓令	84 585

四	275	昭和3年11月(7)日	二八四	在英国佐分利臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償問題に対する英国意向表明について	338
				別電 昭和三年一月六日着在英国佐分利臨時代理大使より田中外務大臣宛第二八五号	賠償問題に対する英国覚書	338
四	276	昭和3年11月7日	普通公 五九九	在美国出淵大使より 田中外務大臣宛	財政専門家委員会に関する米国紙論調について	341
四	277	昭和3年11月(12)日	四九	在ベルギー永井(松三)大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償問題に関するベルギーの態度について	343
三	218	昭和3年11月15日	一八八	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	アヴノルの本邦正式訪問に関しその接待につき意見具申	250
三	219	昭和3年11月24日	一六六	田中外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	アヴノルの本邦訪問を歓迎する旨連盟側に通報方訓令	251
四	278	昭和3年11月(27)日	一一九	在独国外務大臣宛(電報)	財政専門家委員会および賠償問題についての英・仏両国見解に対する独国外務大臣宛(電報)	344
				別電 昭和三年一月二七日着在独国外務大臣宛第一二二一号	財政専門家委員会および賠償問題についての英・仏両国見解に対する独国外務大臣宛(電報)	344
四	279	昭和3年11月(29)日	三一一	在英国佐分利臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	財政専門家委員会についての独国外見解に関する英国覚書について	345
				別電 昭和三年一月二九日着在英国佐分利臨時代理大使より田中外務大臣宛第三一二号	財政専門家委員会の構成等に関する独国外見解への英国回答案	346
六	486	昭和3年11月30日	普通公 六一九	在美国出淵大使より 田中外務大臣宛	米国の常設国際司法裁判所加入問題に関するクーリッジ大統領の意向について	689
四	280	昭和3年12月1日	八七	田中外務大臣より 在独国外務大臣宛(電報)	財政専門家委員会に関する独国外見解への我が方回答について	347
四	281	昭和3年12月1日	二四二	田中外務大臣より 在仏国安達大使宛(電報)	財政専門家委員会に関する我が方意見債権国諸国へ通告方訓令	348
				別電 昭和三年十二月一日発田中外務大臣より在仏国安達大使宛第二四三号	財政専門家委員会に関する我が方意見	348
				付記 昭和三年十一月二八日付 財政専門家委員会に関する我が方意見についての高裁案		349
四	282	昭和3年12月3日	二〇三	田中外務大臣より 在英国佐分利臨時代理大使宛(電報)	財政専門家委員会の構成等に関する英国の対独回答案に我が方異議なき旨訓令	350
三	220	昭和3年12月6日	機密連本 公七八三	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	訪中に関する杉村次長とアヴノルとの会談について	251
五	382	昭和3年12月13日	一〇	在ルガノ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	極東阿片事情調査委員会の派遣時期に関する連盟理事会決議について	496
一	78	昭和3年12月14日	一二	在ルガノ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会の開催期に関する連盟理事国の意見交換について	85
四	283	昭和3年12月(19)日	四四一	在仏国河合(傳之)臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	財政専門家委員会の構成等に関する関係国コミュニケ案について	350

別電 昭和三年二月一九日着在仏国河合臨時代理大使より田中外務大臣宛第
四四二号 財政専門家委員会の権限案 351

四 昭和三年12月21日 二六六 田中外務大臣より 専門家委員会の構成等に関する関係国コ
在仏国安達大使宛(電報) ニケ公表について 351

付記 財政専門家委員会の構成等に関する関係国コ
ミニケ 352

四 昭和三年12月25日 四〇〇 在米国出淵大使より 財政専門家委員会への米国専門家の参加につ
田中外務大臣宛(電報) いて 353

一 昭和三年12月25日 公三八六 在ソ連邦酒勾(秀一)臨時代理大使よ
り 軍縮準備委員会召集方再督促に関するリトウ
田中外務大臣宛 イノフ書翰について 85

一 昭和三年12月29日 二二四 在パリ佐藤連盟事務局長より 次回軍縮準備委員会の開催と同会議において
田中外務大臣宛(電報) 予想される審議事項について 87

昭和四年

四 昭和四年1月9日 条三機 田中外務大臣より 対独賠償専門委員会我が方代表への内訓につ
密合七 在英仏独伊白各大使宛 いて 354

五 昭和四年1月16日 二 田中外務大臣より 我が方希望調査地域および時期につき駐日英
在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報) 国大使へ回答について 496

三 昭和四年1月29日 一〇五 在上海矢田(七太郎)総領事より アヴノルとの中国政局に関する会談について 253

三 昭和四年1月31日 一〇三 在南京岡本(一策)領事より 山東出兵などに関するアヴノルの中国紙記者
田中外務大臣宛(電報) との会見について 254

三 昭和四年2月3日 一一五 在南京岡本領事より アヴノルの蒋介石への謁見について 255

三 昭和四年2月13日 公五一 在ソ連邦酒勾臨時代理大使より アヴノル訪中に関するイズヴェスチアの論調
田中外務大臣宛 について 255

六 昭和四年2月15日 普通公 ルート前米国國務長官の国際司法裁判所規則
田中外務大臣宛 改訂委員会への出席について 690

一 昭和四年2月20日 一八 連盟事務局軍縮部長よりの独、仏、伊、英歴
田中外務大臣宛(電報) 訪結果に関する内話について 88

六 昭和四年2月21日 六二 在米国出淵大使より 常設国際司法裁判所加入問題に関する米国國
田中外務大臣宛(電報) 務長官の公文について 691

付記 昭和四年二月一九日付
右米国國務長官公文

一 昭和四年2月23日 二一 在パリ佐藤連盟事務局長より 次回軍縮準備委員会での討議事項に関する我
田中外務大臣宛(電報) が方対処方につき請訓 89

三 昭和四年2月28日 機密 アヴノルに対する当地中国側要人の対応振り
田中外務大臣宛 について 256

三 昭和四年3月(1)日 二二 ライヒマン連盟保健部長の中国医事顧問就任
田中外務大臣宛(電報) 内諾について 259

三	227	昭和4年3月11日	機密公 二五二	在奉天林(久治郎)総領事より 田中外務大臣宛	アヴノルの奉天における動向について	259
六	489	昭和4年3月4日	二九	田中外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	米国の留保付加盟を容易にすべく措置方訓令	696
六	490	昭和4年3月5日	二七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ルートによる米国の常設国際司法裁判所加入 に関する議定書修正案の提示について	697
五	384	昭和4年3月(6)日	九〇	別電 昭和四年三月六日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より田中外務大臣宛 第二八号 一九二六年裁判所加入国会議議定書第四条に関するルート修正私案要旨	我が方調査希望地域に関する連盟への報告から 奉天を削除したい旨の英国側申入れについて	697
五	385	昭和4年3月7日	四三	田中外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	我が方調査希望地域につき奉天視察は実行し たい旨英国側へ回答方訓令	497
四	287	昭和4年3月(8)日	六七	在仏国河合臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	対独賠償専門委員会開会以来の国際決済銀行 設置問題を中心とする審議経過について	355
六	491	昭和4年3月9日	三一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	米国の加入問題を裁判所規定審査委員会で討 議せしめる旨の連盟理事会決議について	698
六	464	昭和4年3月18日	条二 七	田中外務大臣より 在本邦スイス国公使宛	赤十字条約改正および俘虜条約制定に関する 国際会議開催に対する我が方意見	646

六	492	昭和4年3月25日	三一	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	裁判所規定審査委員会による米国加入問題に 関する新議定書案の起草について	699
四	288	昭和4年3月(30)日	九八	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償年金問題討議に関する英仏伊白四国覚書 とヤング委員長基礎案について	357
三	228	昭和4年3月31日	一〇〇	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償年金問題討議に関する英仏伊白四国覚書 号 昭和四年三月三〇日着在仏国安達大使より田中外務大臣宛電報第九九 号 二 昭和四年三月三〇日着在パリ森(賢吾)委員より三土(忠造)大蔵大臣宛 電報森第四〇号 ヤング委員長提議の賠償年金問題討議のための基礎案概要	358 359
				付記一 昭和四年三月一九日アヴノルの田中外務大臣との会見録	アヴノルの訪日日誌	260
				二 昭和四年三月二二日アヴノルの石井枢密顧問官との会談摘要		262
				付記一 昭和四年三月一九日アヴノルの田中外務大臣との会見録		266

三	229	昭和4年4月5日	機密連本 公二四一	在バリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	訪中途次におけるアヴノルの連盟事務総長宛 書簡について	269
六	493	昭和4年4月5日	普通公 二三八	在米国出淵大使より 田中外務大臣宛	米国の国際司法裁判所加入新議定書案に對する 米国各紙論調	703
一	83	昭和4年4月10日	四七	田中外務大臣より 在バリ佐藤連盟事務局局長宛(電報)	次回軍縮準備委員会での討議事項に関する我が 方対処方につき回訓	90
一	84	昭和4年4月15日	三五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会第六回会議の開会と議長より の議事日程私案提議について	91
一	85	昭和4年4月15日	三八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮問題に関するギブソン米国代表およびカ ッシェンダン英国代表との会談について	92
一	86	昭和4年4月16日	四〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	議長提案の議事日程案可決について	93
四	290	昭和4年4月16日	一一一	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償年金問題の審議状況について	362
一	87	昭和4年4月17日	四一	付記一 昭和四年四月一四日着在バリ森委員より三土大蔵大臣宛電報森第四二 号別電 英仏伊白四国による賠償年金案要旨 二 昭和四年四月一七日着在バリ森委員より三土大蔵大臣宛電報森第四三 号 ヤング委員長作成の賠償年金案要旨	賠償年金分配率に関する我が方意向表明につい て 英仏伊白四国およびヤング委員長の両賠償年 金案に對する独国態度について リトヴィノフの弁駁に對する我が方反論につ いて 独国よりの賠償年金案提出について	94 364 364 362

四	291	昭和4年4月17日	一一二	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償金分配率に関する我が方意向表明につい て	365
四	292	昭和4年4月18日	一一三	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	英仏伊白四国およびヤング委員長の両賠償年 金案に對する独国態度について	366
一	88	昭和4年4月18日	四二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	リトヴィノフの弁駁に對する我が方反論につ いて	94
四	293	昭和4年4月19日	一一六	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	独国よりの賠償年金案提出について	367
一	89	昭和4年4月19日	四三	付記 昭和四年四月一九日着在バリ森委員より三土大蔵大臣宛電報森第四四号 独国の賠償年金案要旨	ソ連案の取扱いに関する幹部会意見書の可決 について	368 95
一	90	昭和4年4月20日	一七一	在ソ連邦酒勾臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会の経過に関するソ連紙の報道 について	96
一	91	昭和4年4月20日	四五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	独国提案の軍縮公表案に関する討議について	97
一	92	昭和4年4月21日	四六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	ソ連軍縮案の否決に對するリトヴィノフ声明 について	97
四	294	昭和4年4月24日	一二六	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	現在までの協議結果に関する報告書作成問題 について	369
四	295	昭和4年4月25日	一二七	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	報告書案に記載すべき事項に関する協議結果 について	370

一	93	昭和4年4月26日	五五	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	化学戦および航空器材に関する討議について……………	98
一	94	昭和4年5月1日	六〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	空軍人員階級区分制限に関する仏国折衷案に つき請訓	98
四	296	昭和4年5月(2)日	一三二	在仏国河合臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	年金問題の現状および報告書案に記載すべき 主要事項について	371
一	95	昭和4年5月2日	一七	田中外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	空軍人員階級区分制限に関する仏国折衷案に 同意の旨回答	99
一	96	昭和4年5月4日	六四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛(電報)	人員問題および陸軍器材問題に関する決定事 項について	99
四	297	昭和4年5月(7)日	一三七	在仏国河合臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	賠償年金に関するヤング委員長調停案の独国 受諾について	371
				別 電 昭和四年五月七日着在仏国河合臨時代理大使より田中外務大臣宛第一三 八号	……………	373
一	97	昭和4年5月(8)日	一四六	付 記 昭和四年五月五日着在パリ森委員より三土大蔵大臣宛電報森第四六号 独国のヤング委員長調停案受諾経緯	……………	373
四	298	昭和4年5月(8)日	一四〇	在英國松平(恒雄)大使より 田中外務大臣宛(電報) 在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会に関する英国各氏の論調につ いて 委員長調停により独国が受諾した賠償年金案 について	100 374

一	98	昭和4年5月8日	一五二	在米国出淵大使より 田中外務大臣宛(電報)	ギブソン提案に関する米国の世論について ……………	101
四	299	昭和4年5月(11)日	一四二	付 記 軍縮準備委員会におけるギブソン提案について 在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	……………	102
六	494	昭和4年5月14日	機密連本 公三一二	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	委員長賠償年金案における各国分配率および 年金額について	375
一	99	昭和4年5月15日	公二六八	在仏国栗山(茂)臨時代理大使より 田中外務大臣宛	裁判所規程審査委員会の討議状況について ……………	706
四	300	昭和4年5月(18)日	一五四	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	第六回軍縮準備委員会閉会に関する仏国紙論 調について	104
四	301	昭和4年5月(24)日	一六三	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	独国の委員長賠償年金案受諾条件について ……………	377
四	302	昭和4年5月(28)日	一六七	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	債権国側の委員長賠償年金案受諾条件に関す る対独覚書について	378
四	303	昭和4年5月(31)日	一七〇	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	債権国側覚書に対する独国態度について ……………	379
五	386	昭和4年5月31日	普通連本 公三五三	在パリ佐藤連盟事務局長より 田中外務大臣宛	独仏米専門家による新賠償年金案の確定につ いて	380
四	304	昭和4年6月(4)日	一七四	在仏国栗山臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	連盟事務総長より極東阿片事情調査委員会の 調査計画通報について ……………	497
				新賠償年金案における支払留保条件の解決に ついて	……………	381

四	305	昭和4年6月(6)日	一七九	在仏国栗山臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	新賠償年金案による我が方の受領額について……………	382
四	306	昭和4年6月7日	一八三	在仏国栗山臨時代理大使より 田中外務大臣宛(電報)	対独賠償専門委員会報告書の調印について……………	383
六	465	昭和4年6月27日	九	田中外務大臣より 在スイス吉田(伊三郎)公使宛(電報)	我が方代表決定について……………	651
六	466	昭和4年6月29日	一二	田中外務大臣より 在スイス吉田公使宛(電報)	赤十字条約改正および俘虜条約制定会議に對する我が方方針……………	651
四	308	昭和4年7月(2)日	一二四	在仏国安達大使より 田中外務大臣宛(電報)	対独賠償専門委員会報告書審議のための国際會議開催に関する仏国意向について……………	400
四	309	昭和4年7月2日	一五八	田中外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	英国よりの専門委員会報告書審議のための国際會議開催提議について……………	400
六	467	昭和4年7月3日	二	付 記 昭和四年六月二八日付在本邦テイレー英国大使より田中外務大臣宛第一〇八号 右国際會議開催に関する在本邦英国大使書簡	……………	400
六	468	昭和4年7月(7)日	三	在ジュネーヴ會議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	會議開催につき衛生飛行機問題などに関し我が方方針請訓……………	653
				付 記 昭和四年七月五日付在ジュネーヴ下村(定)陸軍中佐より宇垣(一成)陸軍大臣宛下電第一号 条約案の逐条審議状況について……………	……………	654
				在ジュネーヴ會議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	俘虜条約の海戦への適用につき海軍三浦委員より財部海軍大臣に請訓……………	655

六	469	昭和4年7月9日	四	在ジュネーヴ會議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	俘虜の待遇に関する赤十字国際委員会の関与問題などにつき各国委員と内話について……………	656
六	470	昭和4年7月12日	五	在ジュネーヴ會議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	俘虜の待遇に関する赤十字国際委員会および中立国の関与問題につき英米両国委員との内話について……………	656
六	471	昭和4年7月12日	二	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ會議委員宛(電報)	俘虜条約案に對する我が方対案処理につき了承の旨宇垣陸軍大臣より陸軍下村委員へ通報……………	657
			付 記	昭和四年七月一日付在ジュネーヴ下村陸軍中佐より宇垣陸軍大臣宛下電第二号 俘虜条約案に對する我が方対案処理につき請訓……………	657	
四	310	昭和4年7月13日	五八	幣原外務大臣より 在独国外務大臣宛(電報)	専門委員会報告書審議のための国際會議開催に関する独国意向について……………	401
六	472	昭和4年7月13日	七	在ジュネーヴ會議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	衛生航空機問題に関する討議について……………	658
六	473	昭和4年7月14日	八	在ジュネーヴ會議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	衛生航空機の任務に関する討議状況について……………	658
六	474	昭和4年7月15日	三	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ會議委員宛(電報)	俘虜処罰および衛生航空機問題に関する我が方対応につき訓令……………	659
六	475	昭和4年7月15日	四	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ會議委員宛(電報)	俘虜条約の海戦への適用につき海軍大臣より海軍三浦委員へ訓令……………	660

六	476	昭和4年7月17日	五	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ会議委員宛(電報)	スイス国旗徽章の乱用防止に関する訓令	661
六	477	昭和4年7月17日	九	在ジュネーヴ会議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	俘虜委員会および赤十字委員会における討議 状況について	661
			別電	昭和四年七月一七日付在ジュネーヴ会議委員より幣原外務大臣宛第一〇 号 条約解釈に関する条項案		662
六	478	昭和4年7月26日	一四	在ジュネーヴ会議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	両条約には概ね留保の必要なしとの所見報告	663
四	311	昭和4年7月27日	二六五	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	専門委員会報告書審議のための国際会議開催 地ハーグに確定の旨通報	402
六	479	昭和4年7月27日	一五	在ジュネーヴ会議委員より 幣原外務大臣宛(電報)	両条約調印式にあたり議定書のみ署名につ いて	664
四	312	昭和4年7月28日	二八一	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	専門委員会報告書に関する英国議会での討議 について	403
四	307	昭和4年7月31日	一五三	幣原外務大臣より 在仏国安達大使宛(電報)	閣議における対独賠償専門委員会報告の主義 上承認について	383
			付記一	昭和四年七月二七日付幣原外務大臣および井上(準之助)大蔵大臣より 濱口(雄幸)内閣総理大臣宛条三機密第三五四号 対独賠償専門委員会報告書の閣議請議		384
			二	対独賠償専門委員会報告書要旨		384
			三	昭和四年六月七日付 対独賠償専門委員会委員復命書		387
四	313	昭和4年8月(1)日	二七五	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ハーグ会議に対する我が方方針決定に際し考 慮すべき点について	404
			別電	昭和四年八月一日着在仏国安達大使より幣原外務大臣宛第二七六号 ハーグ会議に対する我が方方針決定に際し考慮すべき点		404
四	314	昭和4年8月3日	一六〇	幣原外務大臣より 在仏国安達大使宛(電報)	ハーグ会議我が方代表の任命について	405
四	315	昭和4年8月6日	三	幣原外務大臣より 在ハーグ賠償会議代表宛(電報)	ハーグ会議に対する我が方方針につき訓令	405
四	316	昭和4年8月(7)日	五	在ハーグ賠償会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	ハーグ会議の開会およびヤング案の無修正受 諾は困難との一般討議における英国代表意見 について	406
四	317	昭和4年8月(8)日	七	在ハーグ賠償会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	ヤング案を主義上受諾するとの一般討議にお ける我が方声明について	407
四	318	昭和4年8月(9)日	一一	在ハーグ賠償会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	ヤング案をめぐるの英国と仏・伊両国との 意見対立について	408
四	319	昭和4年8月10日	八	幣原外務大臣より 在ハーグ賠償会議代表宛(電報)	会議において我が方考慮すべき事項への対処 方につき訓令	408
四	320	昭和4年8月(17)日	二一〇	在スケヴェニンゲン賠償会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	ヤング案に対する英国側異議に関し関係国よ り対英覚書送付について	410

別 電 昭和四年八月一七日着在スケヴェニンゲン賠償会議代表より幣原外務大
臣宛第二号
右関係国対英覚書要旨 411

四 321 昭和4年8月(17)日 二三 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 413
政治委員会におけるライン撤兵問題の討議状
況について

四 322 昭和4年8月(18)日 二四 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 413
関係国の対英覚書に対する英国側回答につい
て

四 323 昭和4年8月20日 二八 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 414
我が方仲介による英・仏代表者会談について

四 324 昭和4年8月(22)日 二九 在ハীগ賠償会議代表より
幣原外務大臣宛(電報) 416
無条件年金問題および国際決済銀行所在地問
題等について

四 325 昭和4年8月(23)日 三一 在ハীগ賠償会議代表より
幣原外務大臣宛(電報) 417
六国代表者秘密会議の開催について

四 326 昭和4年8月(23)日 三二 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 417
無条件年金よりの我が方賠償金割当額につい
て

四 327 昭和4年8月(26)日 三七 在ハীগ賠償会議代表より
幣原外務大臣宛(電報) 418
英国に提供すべき年金額に関する仏・伊・白
三国の対英覚書作成と同覚書への我が方不参
加の意向表明について

四 328 昭和4年8月26日 一六 幣原外務大臣より
在ハীগ賠償会議代表宛(電報) 419
無条件年金よりの我が方賠償金割当額等につ
き訓令

四 329 昭和4年8月(27)日 三八 在ハীগ賠償会議代表より
幣原外務大臣宛(電報) 419
仏・伊・白三国の対英覚書における英国への
年金額の算出方法について

四 330 昭和4年8月(27)日 三九 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 420
仏・伊・白三国による対英覚書案の審議につ
いて

四 331 昭和4年8月(28)日 四二 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 421
仏・伊・白三国による対英覚書への英国側回
答をめぐる我が方斡旋振りにについて

四 332 昭和4年8月(29)日 四四 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 423
六国代表者会議における妥協成立について

六 503 昭和4年8月29日 公五一八 在仏国河合臨時代理大使より
幣原外務大臣宛 729
仏国外相ブリアンの欧州連合提案に関する仏
国各紙の論調について

四 333 昭和4年8月30日 四七 在ハীগ賠償会議代表より
幣原外務大臣宛(電報) 424
政治委員会におけるライン撤兵問題の合意成
立について

四 334 昭和4年8月(31)日 四八 在スケヴェニンゲン賠償会議代表よ
幣原外務大臣宛(電報) 424
無条件年金よりの我が方賠償金割当額内に
ついて

四 335 昭和4年9月(1)日 五〇 在ハীগ賠償会議代表より
幣原外務大臣宛(電報) 425
ヤング案の主義上承認を主眼とする議定書の
作成と同議定書への議長等の署名について

別 電一 昭和四年九月一日着在ハীগ賠償会議代表より幣原外務大臣宛第五一
号
年金分配に関する議定書第一付属書の要旨について 426

二	昭和四年九月一日着在ハーグ賠償会議代表より幣原外務大臣宛第五二号	427
	実物引渡に関する議定書第二付属書および過渡期間に関する議定書第三付属書について	427
三	昭和四年九月一日着在ハーグ賠償会議代表より幣原外務大臣宛第五三号	427
	協定細目検討のための各委員会の設置等第二次会議開催のための措置について	427

四	昭和四年九月(1)日	三四	在ハーグ賠償会議代表より幣原外務大臣宛(電報)	過去の清算問題に関する関係各国の主張振りについて	427
六	昭和四年九月6日	一三	在ジュネーヴ連盟三全権より幣原外務大臣宛(電報)	連盟総会におけるブリアンンの欧州連合などに関する演説について	731
五	昭和四年九月6日	普通連本 公五七九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣宛	極東阿片事情調査委員会の東京立寄りにつき意見具申	501
六	昭和四年九月7日	普通公 五八〇	在米国出淵大使より幣原外務大臣宛	裁判所加入国会議でのルート案採択に関する米国国務長官の声明について	709
六	昭和四年九月10日	二三	在ジュネーヴ連盟三全権より幣原外務大臣宛(電報)	ブリアンンの欧州連合提案につき欧州各国代表の協議について	732
六	昭和四年九月21日	無号	在ジュネーヴ吉田公使より幣原外務大臣宛	米国の常設国際司法裁判所加入に関する議定書に調印について	710
二	昭和四年九月(25)日	四八	在ジュネーヴ連盟三全権より幣原外務大臣宛(電報)	連盟総会において関税引上げ休止国際会議開催に関する英仏共同提案の可決について	212
三	昭和四年九月25日	八八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣宛(電報)	ライヒマン連盟保健部長の本邦立寄りにつき便宜供与方依頼	274

二	昭和四年九月26日	三三	幣原外務大臣より在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛(電報)	輸出入禁止制限撤廃に関する条約および補足の協定の批准について	210
二	昭和四年10月22日	三七	幣原外務大臣より在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛(電報)	連盟経済委員会における関税引上げ休止問題の討議に際しては慎重を期すべき旨訓令	212
六	昭和四年10月23日	普通連本 公六七三	在パリ佐藤連盟事務局長より幣原外務大臣宛	国際法典編纂会議への招請について	610
二	昭和四年11月2日	一四二	在パリ伊藤(述史)連盟事務局長代理より幣原外務大臣宛(電報)	連盟経済委員会において採択された関税引上げ休止に関する協定案概要について	213
五	昭和四年11月5日	普公 二三三	在シンガポール玉木(勝次郎)総領事より幣原外務大臣宛	極東阿片事情調査委員会のマレーにおける視察状況について	502
五	昭和四年11月15日	機密公 二七〇	在バタビヤ小谷(淡雲)総領事代理より幣原外務大臣宛	極東阿片事情調査委員会のインドネシアにおける視察状況について	506
四	昭和四年11月18日	三八六	在仏国安達大使より幣原外務大臣宛(電報)	ハーグにおける第二次会議の開催につき議長より我が方意向照会について	429
五	昭和四年11月28日	機密 一四三二	在上海重光総領事より幣原外務大臣宛	極東阿片事情調査委員会派遣に対する中国側の態度について	507
六	昭和四年12月12日	機密公 七六八	在米国出淵大使より幣原外務大臣宛	常設国際司法裁判所加入議定書に米国代表調印について	711

六	480	昭和4年12月20日	四九三	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	赤十字条約には留保付、俘虜条約には無留保 で調印との英國の意向について	664
二	183	昭和4年12月21日	一七七	在パリ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	関税引上げ休止会議にはオブザーバー派遣方 請訓	214
四	338	昭和4年12月25日	四四五	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	第二次会議開催のための関係各国専門家会議 討議結果について	430
四	339	昭和4年12月25日	四四六	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	議長よりの第二次会議の開催日通報について	432
四	340	昭和4年12月28日	四五二	在仏国安達大使より 幣原外務大臣宛(電報)	第二次会議において決定を要すべき事項につ いて	433
六	481	昭和4年12月28日	二三	幣原外務大臣より 在スイス吉田公使宛(電報)	俘虜条約には無留保で調印方訓令	665
付記 昭和四年一二月条約局第二課 赤十字条約および俘虜条約に関する外務、陸軍、海軍省協議録						
						665

昭和五年

四	341	昭和5年1月(8)日	五	在ハーグ賠償会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	第二次会議の開会と各委員会の審議状況につ いて	434
六	482	昭和5年1月8日	一	幣原外務大臣より 在スイス吉田公使宛(電報)	改正赤十字条約には留保付で署名方訓令	667

六	446	昭和5年1月10日	二	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理 より 幣原外務大臣宛(電報)	国際法典編纂に関し大國間協議の必要性につ き英國側係官と意見交換について	611
二	184	昭和5年1月11日	一	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理 宛(電報)	会議には代表を派遣する旨回訓	215
六	483	昭和5年1月11日	機密九	在スイス吉田公使より 幣原外務大臣宛	改正赤十字条約および俘虜条約に署名につ いて	667
四	342	昭和5年1月14日	九	在ハーグ賠償会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	賠償年金支払期日等主要懸案事項の審議進捗 状況について	434
四	343	昭和5年1月16日	一二	在ハーグ賠償会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	主要懸案事項中の制裁問題に関する妥協案に ついて	435
六	447	昭和5年1月16日	条二機密 合四二	幣原外務大臣より 在独国東郷(茂徳)臨時代理大使 在オランダ廣田公使 在パリ伊藤連盟事務局長代理	領海問題および国籍問題に関する我が方訓令 案送付	611
四	344	昭和5年1月20日	一五	在ハーグ賠償会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	対独賠償協定案の採択について	436
四	345	昭和5年1月21日	一六	在ハーグ賠償会議全権より 幣原外務大臣宛(電報)	対独賠償関係協定の署名について	438
六	448	昭和5年1月27日	条二機密 合七九	幣原外務大臣より 在独国東郷臨時代理大使 在オランダ廣田公使 在パリ伊藤連盟事務局長代理	國家責任問題に関する我が方訓令案送付	622

五	391	昭和5年2月4日	普通公 三〇	在香港吉田(丹)郎総領事代理 幣原外務大臣宛	極東阿片事情調査委員会より我が方関係地域の旅行日程通知について	510
六	449	昭和5年2月(9)日	一〇	在独国長岡大使より 幣原外務大臣宛(電報)	国籍問題に関する我が方差別禁止提案差し控え方意見具申	628
六	450	昭和5年2月13日	一一	幣原外務大臣より 在パリ伊藤連盟事務局長代理宛(電報)	国際法典編纂会議への我が方代表決定について	628
二	185	昭和5年2月15日	九	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理宛(電報)	関税引上げ休止会議に関する我が方方針訓令	216
六	451	昭和5年2月20日	八	幣原外務大臣より 在独国長岡大使宛(電報)	別電 昭和五年二月一五日付幣原外務大臣より在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理宛第一〇号 関税引上げ休止会議に関する我が方方針 二 昭和五年二月一五日付幣原外務大臣より在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理宛第一一号 関税引上げ休止協定案に対する我が方修正意見 閣議決定に際しての修正点 別電 昭和五年二月二〇日付幣原外務大臣より在独国長岡大使宛第九号 閣議決定された国際法典編纂会議に関する我が方訓令について	629 217 629 629
二	186	昭和5年2月21日	一一	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	関税引上げ休止会議における一般討議について報告	219

六	452	昭和5年2月21日	一七	在独国長岡大使より 幣原外務大臣宛(電報)	国家責任問題に関する訓令案中中国などとの関係上留意すべき点に関し意見具申	630
二	187	昭和5年2月(22)日	一二	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方の関税引上げ休止除外品目につき請訓	220
六	453	昭和5年2月25日	一九	在独国長岡大使より 幣原外務大臣宛(電報)	海峡問題などに関し意見具申	631
三	231	昭和5年2月26日	機密連本 公一二二	在パリ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛	ライヒマン連盟保健部長の中国視察報告について	275
二	188	昭和5年3月1日	二七	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	第一委員会分科会の議論紛糾による会議延期について	220
五	392	昭和5年3月3日	至急親 展照校	在台北石塚(英蔵)台湾総督より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片事情調査委員会の台湾における視察状況について	511
二	189	昭和5年3月5日	機密寿連 本公六	在ジュネーヴ関税引上休止会議代表より 幣原外務大臣宛	第一委員会議長提出の協定代案に対する各国の反応について	221
五	393	昭和5年3月8日	公信 三二二	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛	極東阿片事情調査委員の上海における談話について	512
六	454	昭和5年3月12日	一	幣原外務大臣より 在ハーグ国際法典編纂会議代表宛(電報)	国家責任問題に関する意見具申に関し訓令通り対処方回訓	632

二	190	昭和5年3月12日	三五	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国提出の新協定案について	222
二	191	昭和5年3月12日	三六	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	第二委員会による経済協調プログラム案の起草について	222
六	455	昭和5年3月14日	五	在ハーグ国際法典編纂会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	会議開会について	633
六	456	昭和5年3月17日	二	幣原外務大臣より 在ハーグ国際法典編纂会議代表宛(電報)	津軽海峡の歴史的海峡性などに関し回訓	633
五	394	昭和5年3月(18)日	一八八	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片事情調査委員よりの朝鮮視察申入れについて	512
五	395	昭和5年3月20日	九	幣原外務大臣より 太田(政弘)関東長官宛(電報)	極東阿片事情調査委員会の朝鮮視察には応じかねる旨訓令	513
二	192	昭和5年3月23日	四〇	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	通商条約協定案および経済協調プログラムに関する議定書案の確定について	223
二	193	昭和5年3月23日	機密寿連 本公一二	在ジュネーヴ関税引上休止会議代表より 幣原外務大臣宛	関税引上げ休止会議における我が方代表の態度および所感報告	224

五	396	昭和5年3月(25)日	外一五	太田関東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片事情調査委員会の大連視察以後の日程について	513
二	194	昭和5年3月25日	二〇	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理宛(電報)	通商条約協定に関する疑問点につき照会	226
二	195	昭和5年3月26日	四二	在ジュネーヴ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛(電報)	通商条約協定に関する疑問点につき回答	226
六	457	昭和5年4月10日	一一	在ハーグ国際法典編纂会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	会議の討議状況について	635
六	458	昭和5年4月12日	一三	在ハーグ国際法典編纂会議代表より 幣原外務大臣宛(電報)	国籍条約のみの成立をもって会議閉会について	635
三	232	昭和5年4月18日	機密連本 公二〇一	在パリ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛	中国の連盟理事問題に関する杉村次長の内話について	275
三	233	昭和5年4月18日	機密連本 公二〇三	在パリ伊藤連盟事務局長代理より 松永(直吉)条約局長宛	連盟の対中国援助などに関する杉村次長とライヒマン保健部長との会談について	276
二	196	昭和5年5月1日	普通連本 公二一二	在パリ伊藤連盟事務局長代理より 幣原外務大臣宛	経済協調プログラム付属質問集に回答方連盟事務総長より要請について	228
三	234	昭和5年5月2日	六三	幣原外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	中国の連盟非常任理事国当選のための援助方駐日中国公使より要請について	278

一	100	昭和5年5月10日	五四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	次回軍縮準備委員会開会日の決定について	106
六	506	昭和5年5月21日	公三六〇	在仏国河合臨時代理大使より 幣原外務大臣宛	欧州連合に関する仏国政府覚書について	732
				付 記 一 昭和五年五月一七日付在本邦ドブレル仏国大使より幣原外務大臣宛 欧州連合に関する仏国政府覚書の説明書		733
				二 欧州連合に関する仏国政府覚書(仮訳)		735
六	507	昭和5年6月12日	機密連本 公三二六	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	ブリアンの欧州連合案に関する連盟事務総長の談話について	738
六	508	昭和5年6月20日	公四八	在チェコスロバキア木村(鋭一) 公使より 幣原外務大臣宛	ブリアンの欧州連合案に関するチェコの反応について	739
六	509	昭和5年6月30日	一一一	幣原外務大臣より 在仏国芳澤大使宛(電報)	欧州連合構想に対する我が方対応について	741
一	101	昭和5年7月1日	機密連本 公三八三	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	次回軍縮準備委員会における我が方方針につき請訓	106
五	397	昭和5年7月1日	三九五一 閣衛	在大連石井閣東庁警務局長より 松永条約局長宛	極東阿片事情調査委員会の関東州における視察状況について	516
六	510	昭和5年7月6日	公四九九	在仏国芳澤大使より 幣原外務大臣宛	欧州連合構想に関するムツソリーニ伊国首相の声明について	741
六	511	昭和5年7月8日	一八七	在仏国芳澤大使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合問題に関する駐仏各国大使との会談について	743
六	459	昭和5年7月8日	機密連本 公三九八	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	国際法典編纂会議に関する会議事務総長の所感について	636
六	512	昭和5年7月8日	公一四五	在イタリア吉澤(清次郎)臨時代理大使より 幣原外務大臣宛	仏国覚書に対し欧州連合は協調連合とすべき旨の伊国政府回答について	744
六	513	昭和5年7月14日	二三	在ギリシャ川島(信太郎)公使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合にトルコの参加を希望するとのギリシャ政府の仏国覚書に対する回答について	746
六	514	昭和5年7月14日	五五	在トルコ二瓶(平二)臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合よりのトルコ除外に対する同国の動向について	746
六	515	昭和5年7月16日	七六	在独国東郷臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	仏国覚書に対し欧州外諸国および連盟との関係を考慮すべしとの独国回答について	747
六	516	昭和5年7月18日	公五二二	在仏国芳澤大使より 幣原外務大臣宛	欧州連合は連盟と密接な関係を持つべしとのオーストリア政府の仏国覚書に対する回答について	748
六	517	昭和5年7月19日	二〇九	在英國松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合構想は連盟の枠内で可能との英國政府の仏国覚書に対する回答について	750
六	518	昭和5年7月19日	一九七	在仏国芳澤大使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合に関する仏国覚書への各国政府回答について	751
六	519	昭和5年7月22日	四三六	在ソ連連邦田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合に対するリトヴィノフの見解について	753
五	398	昭和5年8月21日	一〇一	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造制限に関する国際会議開催につき連盟係官の内話について	522

六	498	昭和5年8月22日	一〇八	幣原外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	米国の常設国際司法裁判所加入に関する議定書の批准について	522
五	399	昭和5年8月23日	一一二	幣原外務大臣宛(電報)	製造国会議への我が方招請などに関する連盟阿片部主任との会談について	524
二	197	昭和5年9月1日	通一機密 一一二	幣原外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛	連盟総会での関税引上げ休止問題討議に際しての我が方方針について	228
六	520	昭和5年9月2日	二二八	在仏国芳澤大使より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟総会における欧州連合問題の審議に際して我が方のとるべき態度について意見具申	754
六	521	昭和5年9月9日	五	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合は連盟の精神に合致するとのプリアンの談話について	754
六	522	昭和5年9月11日	八	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合問題などに関するプリアン仏国外相の連盟総会における演説について	755
六	523	昭和5年9月13日	一〇	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合問題に関する欧州諸国会議の討議経過について	756
三	235	昭和5年9月15日	一五	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟理事国改選に関する我が方の方針につき請訓	279
六	524	昭和5年9月17日	二一〇	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合研究委員会設置に関する連盟総会決議について	757

別電	昭和五年九月一七日付在ジュネーヴ連盟三全権より幣原外務大臣宛第二 一號	欧州連合研究委員会設置に関する総会決議	757			
三	236	昭和5年9月17日	一二二	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟総会における中国の連盟理事国再選資格 要求否決について	279
六	525	昭和5年9月23日	二二七	在ジュネーヴ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合研究委員会第一回会合について	758
二	198	昭和5年10月1日	一〇六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	経済協調に関する会議の召集について	231
五	430	昭和5年10月1日	一〇七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	タイ政府による極東阿片会議のバンコック開 催申出について	567
三	237	昭和5年10月3日	公九六三	在中国重光(葵)臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	ソルター連盟経済部長の訪中に関する情報に ついて	279
五	400	昭和5年10月7日	一二五	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	製造国会議において問題となるべき麻薬製造 割当および監督機関などに関し意見具申	524
五	401	昭和5年10月13日	一二三	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	製造国会議の開催要領について	527
一	102	昭和5年10月14日	一六五	幣原外務大臣より 在パリ佐藤連盟事務局長宛(電報)	次回軍縮準備委員会における我が方方針につ き回訓	112
二	199	昭和5年11月2日	一一六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	経済協調会議における討議事項について	231
五	402	昭和5年11月5日	三一二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当等に関する我が方対応につき意 見具申	527

一	103	昭和5年11月6日	一一七	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会第六回会議(後期)の開会と議 事方法に関する決定について	113
五	403	昭和5年11月6日	三二五	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	輸出配分問題等の我が方対応につき請訓	528
一	104	昭和5年11月6日	一一九	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍制限方式に関する英国新提案につきロン ドン海軍会議参加国の同意を得たき旨の同国 代表部よりの申越しについて	114
一	105	昭和5年11月8日	一一一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮条約案一般条項に関する英国側新提案文 の要旨について	115
一	106	昭和5年11月9日	一二三	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍人員制限問題に関する仏国案への対処方 につき請訓	116
一	107	昭和5年11月9日	一二四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	英国新提案に関するロンドン海軍会議参加国 の協議について	116
一	108	昭和5年11月10日	一二八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	兵役年限の制限に関する独国修正案の否決に ついて	117
一	109	昭和5年11月11日	一三〇	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	回訓の迅速な発出につき要請	118
一	110	昭和5年11月11日	一三一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	予算制限に関する英国新提案につき請訓	118
				別電 昭和五年十一月一日付在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より幣原外務大 臣宛第一三二号 右英国新提案		119
一	111	昭和5年11月11日	六四一	在ソ連邦天羽(英二)臨時代理大使よ り 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会に関するイズヴェスチア紙の 論評	120
一	112	昭和5年11月12日	五九	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	海軍人員制限問題に関する仏国案への対処方 につき回訓	121
五	404	昭和5年11月12日	三三〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	製造国会議閉会にあたり議長報告および計画 案ともに留保について	529
一	113	昭和5年11月13日	一三三	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	ロンドン海軍会議参加国による軍縮条約海軍 条項案の各国代表部への配布について	122
一	114	昭和5年11月13日	一三四	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍人員制限問題に関し再考方要請	123
一	115	昭和5年11月14日	一三六	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	艦種間噸数融通問題に関するスペイン等の小 海軍国側の提案について	124
二	200	昭和5年11月15日	六〇	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	経済協調会議に対する我が方方針につき訓令	233
一	116	昭和5年11月17日	一三八	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	陸軍器材制限問題に関する討議結果について	125
一	117	昭和5年11月18日	六二	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	海軍人員問題に関する仏国案に条件付きで同 意の旨回訓	125

一	118	昭和5年11月21日	六六 幣原外務大臣より (電報)	艦種間噸数融通問題に関する小海軍国側提案につき回訓	126
一	119	昭和5年11月21日	一四二 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	空軍器材制限問題に関する英国およびカナダ代表の提案について	127
一	120	昭和5年11月21日	一四三 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍器材制限問題に関する討議結果について	127
二	201	昭和5年11月21日	一四四 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	経済協調会議の討議状況について報告	233
一	121	昭和5年11月21日	一四五 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍事予算制限問題の討議結果について	128
一	122	昭和5年11月24日	一四六 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮本会議開催期日等に関するドラモンドとの会談について	129
一	123	昭和5年11月26日	一四九 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	海軍人員制限案の可決について	130
六	499	昭和5年11月26日	普通公 六六一 在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛	常設国際司法裁判所加入問題に関する米国世論の動向について	717
一	124	昭和5年11月27日	一五一 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	既存軍縮条約の効力に影響を及ぼさずとの条項について	130
一	125	昭和5年11月29日	一五二 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	民間航空問題に関する討議について	131
一	126	昭和5年11月29日	一五三 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮条約案一般条項の第二読会終了について	132

二	202	昭和5年11月30日	一五四 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	経済協調会議は実質的成果なく閉会について	234
一	127	昭和5年12月3日	一五五 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮条約案中の批准および改定関係条項の決定について	134
一	128	昭和5年12月3日	一五六 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟理事会对し軍縮本会議の開催期日決定を要請する委員会決議について	135
一	129	昭和5年12月3日	一五七 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	第三読会における各国修正案の討議結果について	135
一	130	昭和5年12月4日	一五八 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	艦種間噸数融通問題に関する小海軍国側提案の討議について	136
一	131	昭和5年12月10日	一六一 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	軍縮準備委員会の閉会と我方の留保事項について	137
六	500	昭和5年12月12日	普通公 七〇〇 在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛	米国議会上院に提出された常設国際司法裁判所加入議定書に関する大統領教書について	718
六	501	昭和5年12月18日	普通公 七二一 在米国出淵大使より 幣原外務大臣宛	常設国際司法裁判所加入議定書の米国上院外交委員会における審議延期について	720
六	460	昭和5年12月20日	二二 幣原外務大臣より 在スウェーデン武者小路(公共)公使宛(電報)	国籍条約および同議定書の署名に関し訓令	642
五	405	昭和5年12月20日	一六三 在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟阿片委員会における麻薬製造制限問題討議に際しての我が方対応につき意見具申	535
六	461	昭和5年12月26日	一六五 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	国籍条約への署名について	642

五	昭和5年12月30日	一七〇	在パリ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当量に関する我が方暫定措置につ き意見具申	536
---	------------	-----	------------------------------	-------------------------------	-----

昭和六年

三	昭和6年1月14日	一	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	蒋介石によるソルター連盟経済部長およびハ ース連盟交通部長の中国派遣要請について	280
六	昭和6年1月16日	六	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長宛 (電報)	欧州連合研究委員会へ出席傍聴方訓令	758
五	昭和6年1月18日	二	在ジュネーヴ佐藤連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方の麻薬製造割当に関する英国などの対 応ぶりについて	537
三	昭和6年1月20日	八	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟理事会による連盟経済部長および交通部 長の中国訪問承認について	281
六	昭和6年1月23日	九	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合研究委員会第二回会議の討議経過に ついて	759
五	昭和6年1月30日	一五	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方の麻薬製造割当に関する阿片諮問委員 会委員との会談について	539
三	昭和6年2月2日	一三	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	ハース訪中の際本邦立寄り希望について	282

六	昭和6年2月10日	四六	在ソ連邦廣田大使より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合研究委員会への招請に対するソ連政 府の回答について	760
六	昭和6年2月23日	調発 一一三	徳川(家達)日本赤十字社社長より 永井外務次官宛	改正赤十字条約および俘虜条約の我が方批准 につき国際赤十字委員会より督促について	668
		付記一	昭和九年八月九日付重光外務次官より橋本(虎之助)陸軍、長谷川(清) 海軍各次官宛条一機密合第三〇九一号 改正赤十字条約および俘虜条約の批准奏請について		669
		二	昭和九年九月六日付橋本陸軍次官より重光外務次官宛陸密第五二一号 改正赤十字条約の批准奏請には異存ないが俘虜条約の批准奏請には反 対の旨回答		670
		三	昭和九年十一月一日付長谷川海軍次官より重光外務次官宛官房機密 第一九八四号ノ三 俘虜条約の批准奏請には反対の旨回答		670
		四	昭和九年一〇月一二日付廣田外務大臣より岡田(啓介)総理大臣宛条一 機密第六一八号 改正赤十字条約の批准奏請		671
		五	昭和九年一〇月二〇日付村上枢密院書記官長より一木(喜徳郎)枢密院 議長宛審査報告 改正赤十字条約の批准について		672
		六	昭和九年一〇月二四日付枢密院本会議における外務大臣説明案 改正赤十字条約批准奏請経緯		676
		七	昭和九年一〇月二四日付枢密院本会議議事録 改正赤十字条約の批准について		677

三	241	昭和6年3月7日	二八	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	ソルターの本邦立寄りにつき意見具申	283
三	242	昭和6年3月11日	普通送 一八九	在南京上村(伸一)領事より 幣原外務大臣宛	ハースおよびソルターの動静について	285
六	529	昭和6年3月12日	普通連本 公一九七	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	欧州連合研究委員会にトルコ代表参加につい て	761
三	243	昭和6年3月13日	八四	在北平矢野(雲)参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	ソルター、ハースおよびライヒマンの動静に 関する王外交部常務次長より張学良宛電報に ついて	286
六	530	昭和6年3月14日	機密連本 公二〇五	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	欧州連合研究委員会に関するドラモンド連盟 事務総長の内話について	761
三	244	昭和6年3月21日	普通送 二〇八	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛	ハースの動静について	287
六	531	昭和6年3月28日	四四	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合研究委員会組織分科会における討議 状況について	763
三	245	昭和6年4月13日	条三 七三	幣原外務大臣より 在パリ澤田連盟事務局長宛	ハースの本邦における動向について	288
五	431	昭和6年4月28日	六一	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片会議への米・中両国招請につき連盟 阿片部長より申越しについて	567

三	246	昭和6年4月30日	六六	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	中国に対する連盟諸機関の援助を要請する宋 子文より連盟事務総長宛電報について	290
三	247	昭和6年5月1日	六九	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	国民経済委員会の設置に関する宋子文覚書の 要旨報告	291
三	248	昭和6年5月4日	七二	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	宋子文提案に関する杉村次長とドラモンド、 アヴノルおよびライヒマンとの会談について	293
三	249	昭和6年5月4日	七四	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	宋子文提案に対する我が方対応につき請訓	295
六	532	昭和6年5月4日	機密連本 公三六四	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	欧州連合の動向に疑念を抱く旨のドラモンド 連盟事務総長の内話について	764
三	250	昭和6年5月5日	七八	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	宋子文提案を次回理事会討議に付すとの宋宛 連盟事務総長の回電について	296
三	251	昭和6年5月6日	八一	在パリ澤田連盟事務局長より幣原外 務大臣宛(電報)	連盟の対中国援助問題審議から我が方排斥傾 向に關し杉村次長より連盟事務総長への抗議 について	297
三	252	昭和6年5月10日	八五	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟の対中国援助問題に関する我が方対処方 針につき請訓	298
三	253	昭和6年5月10日	八六	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟の対中国援助問題に関する事務総長ノー トの内示に際し我が方対処方につき請訓	299

三	254	昭和6年5月11日	六九	幣原外務大臣より 在パリ澤田連盟事務局長宛(電報)	連盟の対中国援助問題に関する我が方方針訓令	300
三	255	昭和6年5月12日	七〇	幣原外務大臣より 在パリ澤田連盟事務局長宛(電報)	ソルターと外務大臣などとの会談について	302
五	409	昭和6年5月12日	八七	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造制限会議における我が方方針につき 請訓	540
三	256	昭和6年5月12日	条三 九四	幣原外務大臣より 在パリ澤田連盟事務局長宛	ソルターの本邦における動向について	303
三	257	昭和6年5月16日	七七	幣原外務大臣より 在パリ澤田連盟事務局長宛(電報)	中国財政立て直しなどに関するソルターと森 貴族院議員および武内横浜正金銀行副頭取と の会談について	305
三	258	昭和6年5月17日	三七	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟の対中国援助問題に関する事務総長ノ トへの我が方修正申し入れについて	306
三	259	昭和6年5月18日	三九	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟の対中国技術援助に我が方参加につき連 盟事務局長との会談について	308
三	260	昭和6年5月19日	亜一機密 一一〇	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛	連盟の対中国援助に関する杉村次長とライヒ マン及び伍在スイス中国公使との会談につい て	310
三	261	昭和6年5月20日	四二	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟の対中国援助問題に関する事務総長ノ ト理事会において可決について	313
三	262	昭和6年5月20日	四三	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	対中国交通技術援助などに関する伊藤連盟交 通委員会委員とハース連盟交通部長との会談 について	317
三	263	昭和6年5月20日	四九	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	対中国交通援助のための邦人顧問予定者選定 につき意見具申	318
六	462	昭和6年5月20日	条二機密 一〇一	幣原外務大臣より 在パリ澤田連盟事務局長宛	今後の国際法典編纂に関する我が方意見につ いて	642
六	533	昭和6年5月23日	五三	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	欧州連合研究委員会第三回会議の討議経過に ついて	766
三	264	昭和6年5月26日	二七	幣原外務大臣より 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長宛 (電報)	対中国交通援助のための邦人顧問の選定につ いて	319
五	410	昭和6年5月29日	五七	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造制限会議開催にあたり主要参加国代 表との内交渉について	541
三	265	昭和6年6月3日	六三	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟交通委員会における対中国交通援助問題 の討議状況について	320
五	411	昭和6年6月3日	六四	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造制限会議における我が方および各国 代表の主張について	542
五	412	昭和6年6月8日	六八	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当に関する我が方修正案への英国 などの反応について	543
付 記 昭和六年五月一九日の連盟理事会で可決された事務総長ノート						314

五	413	昭和6年6月8日	七十	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当に関する英国修正案への我が方 対応につき意見具申	546
三	266	昭和6年6月8日	七一	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	対中国援助に関する中国との連絡のため連盟 首脳派遣との情報について	321
五	414	昭和6年6月11日	七五	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当に関する日仏妥協案の提出につ いて	548
五	415	昭和6年6月13日	七七	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	中央事務局設置問題に関する我が方対応につ き意見具申	549
四	347	昭和6年6月20日	一三二	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛(電報)	米国内外の経済回復等に関するフーヴァー米 国大統領と政党首脳者との会見について	440
五	416	昭和6年6月20日	八一	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当に関する日仏妥協案の審議状況 および同案可決について	550
五	417	昭和6年6月21日	八〇	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	粗製モルヒネ制限問題に関する我が方対応に つき意見具申	552
四	348	昭和6年6月21日	一三三	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛(電報)	各国間債務・賠償等の支払い猶予に関するフ ーヴァー大統領提案について	440
三	267	昭和6年6月22日	機密連本 公四七九	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	連盟事務局中国委員会における連盟技術部長 派遣に関する協議状況について	321
三	268	昭和6年6月23日	八二	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	連盟経済委員会における対中国経済援助問題 の討議状況について	325

四	349	昭和6年6月25日	一三九	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー提案発表の経緯と関係国の反応に ついて	441
四	350	昭和6年6月26日	一七五	在仏国栗山臨時代理大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー提案に対する仏国の対米回答につ いて	443
五	418	昭和6年6月26日	八六	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬製造割当に関し日仏妥協案を骨子とする 条項案の作成について	552
四	351	昭和6年6月27日	一〇五	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー提案に対する我が方意向につき訓 令	444
五	419	昭和6年6月29日	八八	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	麻薬の輸出入統制問題に対する各国の対応に ついて	553
五	420	昭和6年7月1日	八九	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	本会議においてこれまで採択された条項につ いて	554
五	421	昭和6年7月1日	九一	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	別電 昭和六年七月一日付在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より幣原外務大臣宛 第九〇号 本会議において採択された条項の概要	555
四	352	昭和6年7月2日	一四三	在米国外務大使より 幣原外務大臣宛(電報)	押収麻薬問題に関する我が方対応につき請訓	556
五	422	昭和6年7月4日	九二	在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー提案への賛同を求める米国の対仏 覚書について 本会議において採択された条項について	445 557

別電 昭和六年六月八日付在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より幣原外務大臣宛
第六九号
麻薬製造割当に関する英国修正案

別 電 昭和六年七月四日付在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より幣原外務大臣宛
第九三号
右条項概要 557

五 423 昭和6年7月5日 九五 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 見積り査定問題に関する我が方修正案否決について 558

四 353 昭和6年7月7日 一八七 在仏国芳澤大使より フーヴァー提案に関する米仏基礎協定について 446

五 424 昭和6年7月8日 九七 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 押収麻薬問題に関する会議議長などの内協議について 559

四 354 昭和6年7月8日 六六 在独国小幡(西吉)大使より 米仏基礎協定成立に対する独国の反応について 447

四 355 昭和6年7月8日 一二三 在英国松平大使より フーヴァー提案に関する関係国会議開催につき英国外務省担当官の内話について 448

五 425 昭和6年7月9日 九八 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 押収麻薬問題に関する我が方対応につき請訓 560

五 426 昭和6年7月9日 九九 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 阿片中央委員会を本条約の中央事務局とする起草委員会案について 561

別 電一 昭和六年七月九日付在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より幣原外務大臣宛第一〇〇号
連盟阿片中央委員会の権限に関する条項案 561

二 昭和六年七月九日付在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より幣原外務大臣宛第一〇一号
コデインに関する条項案 562

四 356 昭和6年7月11日 一四五 幣原外務大臣より 英国よりのフーヴァー提案に関する関係国会議開催提議について 449

付 記 昭和六年七月一日付在本邦テイレー英国大使より幣原外務大臣宛第一三〇号
右会議開催提議に関する在本邦英国大使書簡 450

六 463 昭和6年7月11日 条二機密 一五九 幣原外務大臣より 領海制度の研究続行に関する我が方意見連盟事務局総長へ通告方訓令 644

五 427 昭和6年7月12日 一〇二 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 本会議における押収麻薬問題の討議状況について 562

別 電 昭和六年七月一二日付在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より幣原外務大臣宛第一〇四号
本会議において決定された条項 563

五 428 昭和6年7月12日 一〇五 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 議定書における我が方粗製モルヒネの取り扱いに関する規定について 565

四 357 昭和6年7月14日 一四七 幣原外務大臣より フーヴァー提案に関する関係国会議に我が方参加について 450

付 記 昭和六年七月一四日付幣原外務大臣より在本邦テイレー英国大使宛第三普通第一三四号
右会議参加に関する在本邦英国大使への通報 451

五 429 昭和6年7月14日 一〇六 在ジュネーヴ澤田連盟事務局長より 麻薬製造制限条約への署名について 565

四 358 昭和6年7月16日 一五〇 幣原外務大臣より フーヴァー提案に関する関係国会議への我が方対処方につき訓令 451

四	359	昭和6年7月17日	一五一	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	我が方対処方に関する訓令の閣議における修正点について	453
四	360	昭和6年7月17日	二三〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	フーヴァー提案に関する関係国財政専門家会議の開催について	453
四	361	昭和6年7月23日	二五七	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	独国財政救済のための関係国蔵相会議討議結果について	454
四	362	昭和6年7月24日	二五八	別電 昭和六年七月二三日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛第二五五号 独国財政救済に関する関係国蔵相会議宣言	第二回財政専門家会議の審議状況について	455
四	363	昭和6年7月29日	二六六	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	財政専門家会議における各国の態度および我が方対処振りにについて	458
四	364	昭和6年8月1日	一六四	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	財政専門家会議において作成されるべき協定の実施規定につき訓令	460
四	365	昭和6年8月1日	二七〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	無条件年金の分配に関する英伊両国の異議について	461
四	366	昭和6年8月2日	二七五	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	議定書批准条項に関する審議について	462
				別電 昭和六年八月二日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛第二七六号 我が方要望を容れた議定書批准条項案について	465	
				付記 昭和六年八月七日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛電報第二九二号 右批准条項案の修正について	465	
四	367	昭和6年8月3日	二七七	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	議定書の暫定的効力発生のための国際決済銀行に対する共同通告について	466
四	368	昭和6年8月3日	二八〇	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	議定書案および報告書案の採択について	467
				付記一 昭和六年八月三日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛電報第二七八号 議定書案要領	469	
				二 昭和六年八月三日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛電報第二八二号 報告書案要領	471	
				三 昭和六年八月一日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛電報第三〇六号 議定書案の修正について	473	
四	369	昭和6年8月6日	二一一	在仏国芳澤大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英国より無条件年金に関する共同宣言へ我が方参加方要請について	474
				別電 昭和六年八月六日付在仏国芳澤大使より幣原外務大臣宛第二一二号 右共同宣言案	475	
四	370	昭和6年8月7日	二九四	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	国際決済銀行に対する共同通告文案について	476
				別電 昭和六年八月七日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛第二九五号 右共同通告文案	477	
四	371	昭和6年8月7日	一六七	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	議定書の批准問題等につき訓令	478

四	372	昭和6年8月10日	一七一	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	無条件年金に関する共同宣言案への我が方対処方につき訓令	479
四	373	昭和6年8月11日	二九八	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方要望を容れた批准条項案の承認等について	479
四	374	昭和6年8月11日	三〇一	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	議定書および関係文書への署名について	480
四	375	昭和6年8月11日	三〇二	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	報告書への署名について	481
四	346	昭和6年8月27日	一一五	幣原外務大臣より 在仏国芳澤大使宛(電報)	昭和六年八月一日付在英国松平大使より幣原外務大臣宛第三〇四号報告書案の修正箇所について	482
六	534	昭和6年9月5日	一一四	在ジュネーブ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	対独賠償関係諸協定を批准した旨仏国政府に通告方訓令	438
六	535	昭和6年9月17日	三五	在ジュネーブ連盟三全権より 幣原外務大臣宛(電報)	ソ連の経済不侵略条約案に関する欧州連合研究会の討議報告	438
六	536	昭和6年10月6日	普通連本 公七四四	在パリ澤田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛	欧州連合は域外諸国と連携して活動すべしとの連盟第六委員会決議について	770
六					経済不侵略条約案審議委員会設置などに関する第五回欧州連合研究会決議について	771
六				付記 右経済不侵略条約案		768
六						768

五	432	昭和6年10月21日	四〇	在タイ矢田部(保吉)公使より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片会議の議題について	567
五	433	昭和6年11月9日	阿二	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片会議の開会について	568
五	434	昭和6年11月13日	阿三	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	極東阿片会議における討議手続きについて	568
五	435	昭和6年11月17日	阿四	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	針 極東阿片事情調査委員会(エクストランド委員会)提案に対する我が方方針	569
五	436	昭和6年11月19日	阿五	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	阿片密輸関係諸問題に関する討議状況について	571
五	437	昭和6年11月24日	阿七	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	台湾における阿片の販売制度などに関する討議状況について	572
五	438	昭和6年11月27日	阿八	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	一般討議の終了について	573
五	439	昭和6年11月28日	阿九	在タイ矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	本会議において決定された協定、議定書および共同声明の概要について	573
				付記一 昭和十一年九月一四日付有田(八郎)外務大臣より廣田(弘毅)総理大臣宛条一機密第五六四号	阿片吸飲防止協定および同議定書の調印について	575
				阿片吸飲防止協定の批准奏請		575
				二 阿片吸飲防止協定説明書		576

普通公
在米
出淵
大使
より
犬養(毅)
外務
大臣
宛

三 昭和十一年一月一八日付村上(恭二)枢密院書記官長より平沼(騏一郎)枢密院議長宛
阿片吸飲防止協定批准審査報告
四 昭和十一年一月二五日枢密院本会議々事録

米国の常設国際司法裁判所加入問題の米国議
会における審議延期について

付記一 昭和十一年一月三〇日付在米國齋藤(博)大使より廣田外務大臣宛電報
第四三三號
上院本會議における常設國際司法裁判所加入案否決について

二 昭和十一年三月一二日付在米國齋藤大使より廣田外務大臣宛普通公第一四二號
米國の常設國際司法裁判所加入案否決に関する在米大使館の所感

577
580
721
722
723

日本外交文書
昭和期 I 第二部第二卷
(昭和二~六年)
不許複製
Documents on
Japanese Foreign Policy
Showa Era, Series I (1927-1931)
Part 2, Volume II

平成四年三月二〇日印刷
平成四年三月三十一日発行

外務省編纂
外務省発行

印刷所
新潟県新潟市津島屋七一〇
株式会社 文天閣